

家庭料理に米粉を取り入れて

さんぶ米粉料理コンクール

3月5日、千葉県山武農林振興センターにおいて、山武地域産米粉の普及・消費拡大を図り、家庭での新しい食べ方を提案することを目的に「さんぶ米粉料理コンクール」が開催されました。

コンクールには山武郡市管内から33点、市内からも多数応募がありました。出品された料理は、お菓子・食事、和風・洋風と多岐にわたり、調理方法も焼く・蒸す・煮るなど多彩で、米粉の食材としての利便性を表すものとなりました。独自性や普及性などを基準とした審査の結果は次のとおりです。

- 山武農林振興センター所長賞 中川 雅子さん
「炊飯器でつくる米粉のもっちりカステラ」
- 山武地域農林東振興協議会長賞 押尾 好美さん
「いちごチョコ大福」
- 山武農業改良普及事業協議会長賞 水野久美子さん
「味噌ミルとん!」



山武農林振興センター所長賞
「炊飯器でつくる米粉のもっちりカステラ」



小学校は楽しいよ

日向小学校・日向幼稚園交流会

寒さが和らぎ、春らしい陽気になった2月24日、日向小学校で、日向幼稚園の園児との交流会が行われました。

交流会は年3回の学期ごとに行われているもので、今回は小学校入学への不安を取り除くことを目的に、卒園を控えた園児へ、1年間小学校生活を送ってきた1年生が掃除や給食などの学校生活について紹介しました。

また、一緒に歌を歌ったり、園児と児童がペアになって飛行船を作りました。



「みこ舞」

伝統文化にふれる

稲荷神社の神楽の奉納

3月13日、稲荷神社（松尾町本柏）で市の指定文化財である神楽が奉納されました。

稲荷神社は明治30年に暴徒により消失し、このとき神楽の奉納も途絶えましたが、再建とともに復活し、12座が奉納されるようになりました。

例祭は、「初午祭」と呼ばれ、初午の日に五穀豊穡を祈願して、神楽が行われていましたが、現在は、3月の第2土曜日に奉納しています。

当日は、新継承者も加わった保存会の皆さんによる「翁の舞」、「猿田彦の舞」「三方荒神」などの10座が、披露されました。